

地区ロータリー財団研修セミナー 「ジェニー・ホートン女史特別講演」開催



去る8月26日(土)に、平井ガバナー年度最初の大きな地区行事である地区ロータリー財団研修セミナーが、大学と産業界、地域社会との連携及び交流を促進する場として、京都市が全国に先駆けて設立したキャンパスプラザ京都において開催されました。

このセミナーは、ロータリー財団プログラムへの積極的な参加と寄付の増進に対する啓発を行い、加えて平井ガバナーが提唱される「心のきずな」とロータリー財団の使命を改めて確認することを目的に開催されました。当日は、オーストラリアから特別に招聘したゲストスピーカーのジェニー・ホートン女史をはじめご来賓の方々、地区役員、クラブ会長、クラブ財団委員長、そして事務局ほか関係者等総勢315名が一堂に会して、午後1時から5時半まで多彩で有意義なプログラムが執り行われました。

また、セミナーの特別プログラムとして、元青少年交換学生でありロータリアンでポリオ撲滅運動の最前線で活躍されているジェニー・ホートン女史により、「砂上のダイヤモンド、奉仕という名の宝物」というテーマで同時通訳を交えて1時間に及ぶ熱意のこもった講演が行なわれました。

この特別講演は、去る2月に米国カリフォルニア州サンディエゴで開かれた国際協議会に参加されていた当時の平井ガバナーエレクトが、ホートン女史の講演を聞き感銘を受けられ、ぜひ2650地区の財団研修セミナーに講師として招きたいと切望されたことから実現の運びとなりました。

ホートン女史は、1970年にオーストラリアのワルチャワRCから青少年交換留学生として、米国オクラホマ州のフレデリックRCに派遣され、高校生の頃よりロータリーの精神や活動に感銘を受け、その後自身も看護師の職業に携わりながらロータリアンとして活躍し、とりわけポリオ撲滅運動では、インド、ボツワナ、パキстанはじめ現場の最前線で奉仕活動に邁進されてきました。現在は、WHOから世界ポリオ撲滅推進計画のコンサルタントとして、カラチを拠点に現地のロータリアンと連携しながら、ポリオの撲滅に向けて多大な貢献をされています。

講演では、青少年交換時代に経験した友愛の重要性と「自分の人生は、青少年交換に始まり、ロータリーに負うもの」という人生哲学を静かな物腰の中にも強い意志を感じさせる口調で述べられ、聴衆を魅了されました。そして、ポリオのない世界を達成する目標に向けて、これからも多くのロータリアンとともに積極的に取り組んでいきたいと力強く抱負を語られました。

極めて多忙なスケジュールの中、当地区への訪問を決意いただいたホートン女史に深甚なる感謝を捧げたいと思います。



田中誠二 財団奨学金・財団学友委員長



西村二郎 地区研修リーダー・年次寄付コーディネーター・ロータリー財団委員会委員長・バスターガバナー



公文俊一 財団補助金委員長



下世古晋 財団年次寄付・財団恒久基金委員長



山本和秀 G.S.E委員長

